

文部科学省 情報ひろば 『サイエンスカフェ』

主催：日本学術会議、文部科学省

参加無料です

毎月第4金曜日の夜にサイエンスカフェを定期開催しています。
平成23年度・第9回を、次のとおり開催いたしますので、テーマに少しでもご興味がありましたら、お気軽にご参加ください。

日時 平成24年1月27日（金） 19：00～20：30
場所 文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）
主催 日本学術会議、文部科学省
講師 小久保 英一郎（国立天文台理論研究部准教授）
ファシリテータ 須藤 靖（日本学術会議会員、東京大学大学院理学系研究科
物理学専攻教授）

テーマ 「星くずから地球へ」
定員 40名程度
参加費 無料
申込み 参加方法の詳細は「文部科学省「情報ひろば」イベントのお知らせ」
(http://www.mext.go.jp/b_menu/gyouji/detail/1314911.htm)を
ご覧ください



生命を宿す惑星、地球。暗黒の宇宙の中で青く白く輝く私たちの故郷。地球はどのようにして誕生したのでしょうか。地球をはじめとする太陽系の惑星は、約46億年前に原始太陽系円盤とよばれる太陽のまわりの円盤から誕生したと考えられています。円盤は、太陽の前の世代の星の星くずであるガスと塵からできています。この塵が地球のもとになります。まず塵が集まり、微惑星とよばれる小さな天体が生まれます。微惑星は衝突合体をくり返して大きくなり、原始惑星へと成長していきます。現在の地球の軌道付近には約10個の原始惑星ができます。この原始惑星が衝突をくり返して、最終的に地球が誕生します。そして、太陽からちょうどいい距離に、ちょうどいい質量と組成で誕生した地球は、海をもつ惑星となったのです。星くずから地球へ、最新天文学が解き明かした地球の誕生物語を紹介します。